

経済政策論 B

－拡張版シラバス－

明治大学 商学部
2026 年度 秋学期

授業の概要・到達目標

【授業の概要】 経済政策はマクロ経済・ミクロ経済の様々な分野と密接に関連している。経済政策論 B では、財政の維持可能性、社会保障制度の設計、成長戦略といった長期の経済現象について、マクロ経済学的視点に基づいて講義を行う。具体的には、(1) ソローモデルに基づいた経済成長のメカニズムの理解や制度の役割といった長期的な経済成長を促すための施策について議論する。加えて、(2) 日本社会が直面する喫緊の課題である人口高齢化とそれに関連した社会保障制度の役割を説明する。また、(3) 経済成長と関連付けながら経済格差の問題についても講義する。適宜、時事的トピックや最新の研究動向についても言及する。

【到達目標】 分析ツールの習得に重点を置き、「政府や日銀はこれからどのような政策を実施するのか?」、「政策当局の意図はどこにあるのか」といった問題を、自ら考えて説明できるようになる事が本講義のゴールである。

授業内容

| 週 | 日程 | コンテンツ |
|---------|-----------|---------------------------|
| Week 1 | 9月21日(月) | 経済成長のファクト整理 |
| Week 2 | 9月28日(月) | ソロー成長モデル I —モデルの構造 |
| Week 3 | 10月5日(月) | ソロー成長モデル II —政策含意 |
| Week 4 | 10月12日(月) | 内生的経済成長 I —AK モデル |
| Week 5 | 10月19日(月) | 内生的経済成長 II —イノベーションと政策 |
| Week 6 | 10月26日(月) | スキル偏向型技術進歩と賃金格差 |
| Week 7 | 11月9日(月) | 人的資本・教育の経済学と経済政策 |
| Week 8 | 11月16日(月) | 少子高齢化 |
| Week 9 | 11月23日(月) | 2 期間モデル —消費・貯蓄の異時点間最適化 |
| Week 10 | 11月30日(月) | 世代重複モデルと経済政策 |
| Week 11 | 12月7日(月) | 社会保障制度 |
| Week 12 | 12月14日(月) | 家族の経済学 —少子化・婚姻・ジェンダーと経済政策 |
| Week 13 | 12月21日(月) | 経済政策を「理解する」 |
| Week 14 | 1月18日(月) | 期間内試験(予定) |

履修上の注意

経済学 A・B 及び基本科目のマクロ経済学、ミクロ経済学を理解していることを前提として講義を進める。公共経済学・財政学、産業組織論、計量経済学を同時履修することが望ましい。

教科書

特に定めない。

参考書

マクロ経済学 講義でカバーする内容をより深く理解したい人は、以下の本を参考にしてください。

- ・ 齊藤誠・岩本康志・太田聰一・柴田彰久『マクロ経済学』有斐閣
- ・ ブランシャール『ブランシャール マクロ経済学 上・下』東洋経済新報社
- ・ シュミット=グローエ・ウリベ・ウッドフォード『国際マクロ経済学』東洋経済新報社
- ・ 伊藤隆敏・星岳雄『日本経済論』東洋経済新報社
- ・ 北尾早霧・砂川武貴・山田知明『定量的マクロ経済学と数値計算』日本評論社

また、各講義スライドの最後に今後の勉強の指針として読むべき本・論文を紹介しています。

英語 経済学は英語で勉強したほうがわかりやすいことが多いので、英語で書かれた本も紹介しておきます。

- ・ Pablo Kurlat, *A Course in Modern Macroeconomics*
- ・ Charles I. Jones, *Macroeconomics*, WW Norton & Company.
 - 日本語訳もありますが、やや版が古いです

経済数学 本講義では、マクロ経済学の分析ツールを理解するために必要な数学的知識も講義の中で説明するが、より幅広く正確に理解したい人は以下の本を参考にしてください。

- ・ 尾山大輔+安田洋祐『[改訂版] 経済学で出る数学』日本評論社

成績評価の割合

成績は下記のウェイトで評価します。

| 対象 | 割合 |
|--------------|-----|
| 定期試験 (60 分) | 70% |
| エクササイズ (不定期) | 30% |

動画について

講義は基本的に対面で行います。経済政策論 A の内容を復習したい人のために、経済政策論 A の講義動画を Oh-o!Meiji で公開しています。